

第3学年 国語科学習指導案

| | | |
|-----|----------------|------------------|
| 日時 | 平成20年10月15日(水) | |
| 学級 | 3年1組 36名 | 3年2組 36名 |
| 授業者 | 松本 紀子 | 小野寺 亜貴代 菊池 若子 |

1 単元名 場面の様子をそうぞうしながら読もう

教材名 「ちいちゃんのかげおくり」 (光村図書3年下)
「ひろしまのエノキ」 (童心社)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、物語教材としてこれまでに、4月単元「きつつきの商売」、6月単元「3年とうげ」を学習した。「きつつきの商売」では、音読する活動を中心に据え、登場人物の心情やぶなの森にこだまする音の様子が伝わるように、工夫して音読することができた。「3年とうげ」では、主人公のおじいさんがトルトリの知恵によって不運を幸運へと転換する物語の面白さを叙述を基に考えていくことができた。2つの物語単元の学習を通して、一つ一つのことばに目を向け読み取ったことを音読に表そうという児童が増えてきた。しかし、叙述に即して的確に読み取り想像を広げられる児童はまだ一部で、場面の流れから大雑把な読み取りをしたり、自分の思い込みで叙述に即していない読み取りをしたりしている児童がまだ多い。

そこで、本単元では、一つ一つのことばに目を向けさせ、叙述に即して確かな読み取りをさせていく活動に重点を置きたい。児童にとって戦争は未経験のものであるが、主人公のちいちゃんの思い・願いを叙述に即して読み取ることで、家族を大切に思うちいちゃんの気持ちに共感できると考える。ちいちゃんと自分を重ね合わせることで、戦争を自分達の生活とかけ離れた過去のものとして認識するのではなく、日常、当たり前と思っている家族との幸せな生活を奪い、尊い人の命、未来までも奪ってしまう恐ろしいものであること、だからこそ今の平和が尊いのだということ子どもなりに感じ取らせていきたい。

(2) 教材について

第3学年及び第4学年における読むことの目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。本単元に関わっての読むことの重点には「ア いろいろな読み物に興味をもち、読むこと。ウ 場面の移り変わりや情景を叙述を基に想像しながら読むこと。エ 読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方についてちがいのことに気付くこと。カ 書かれている内容の中心や場面の様子がよく分かるように声に出して読むこと。」である。

本教材「ちいちゃんのかげおくり」は、児童が会う最初の戦争文学作品である。情景や人物の言動が会話文を中心に生き生きと描かれており、読み手はちいちゃんに容易に感情移入し、家族とのかげおくりを楽しんだり、ひとりぼっちになった悲しさや恐怖を感じたりしながら読み進めることができると思われる。また、戦争の残酷な場面をリアルに描くのではなく、戦争が人々に与えた深い悲しみが切々と語られており、だからこそ戦争を否定する作者の思いが読み手の胸に鋭く伝わってくる作品である。当時の時代背景を3年生の児童に十分把握させることは容易ではないが、幸せの象徴ともいべき「かげおくり」の情景を思い浮かべ、様子を想像しながら読むことにより、平和を願う態度へとつなげていきたい。

副教材「ひろしまのエノキ」は、原爆を受け焼かれながらも地域の人々の手で再生していくエノキの話である。青々と茂り人々の憩いの場になっていたエノキの様子と原爆で焼かれ枯れた様子が対句的に描かれている。児童は、原爆を境に大きく姿を変えるエノキの様子を読み取ることで戦争の恐ろしさを感じ取るであろう。また、本教材の読み取りで使う「対比」を用いることで、エノキの様子の変化を叙述に即して読み取ることができる教材である。

(3) 指導について

本単元の指導にあたっては、各段階において以下の点に留意していきたい。

「とらえる」段階では、教材文をすらすら読めるようにしたり、計画的に新出漢字の練習に取り組みせたり、難しい言葉の意味を国語辞典で調べさせたりして読み取りの基礎となる力をつけさせたい。

「ふかめる」段階では、はじめに物語の登場人物やおおまかな場面の構成をとらえるために、穴埋め式の設定表にまとめさせる。その際、児童が物語の大体をとらえるために中心となる語句を叙述から正しく選び、記入できるように配慮していきたい。次に、①幸せの象徴である家族四人で行なっただけおくりの様子、②空襲の中で家族からはぐれるちいちゃんの様子、③一人ぼっちで行なっただけおくりの様子、④戦時中と平和な今との違い等を取り上げることにより、戦争が人々に与えた深い悲しみや平和の尊さについて考えさせていきたい。その際に①、③、④については「対比」を使って読み取らせていく。また、場面ごとに心に強く感じた感想を書く活動を取り入れることにより、ちいちゃんの気持ちに沿いながらも客観的に戦争を見つめ、友達と感想を交流していけるようにしたい。戦時下の状況や登場人物の気持ちの読み取りが、独りよがりな読みや勝手な解釈にならないよう、叙述を基に考えさせていく。また「ひろしまのエノキ」では、「ちいちゃんのかげおくり」で学習した対比のスキルを使って、場面の様子を読み取らせる。

「ひろめる」段階では、みどりっ子タイムの活動と関わらせながら、年長者等に「戦争文学教材」を絵と文で紹介する活動を設ける。本の紹介ではあらずじだけでなく、心に残った場面やその理由を書かせることでその本が強く訴えたかった思いに気づかせていきたい。友達の本紹介を聞くことによってさらに平和の大切さを交流する場としたい。

3 単元の目標

(1) 主目標

◎場面の様子を叙述に基づいて想像しながら読み、戦争時を描いた作品を読み深めることができる。

(2) 観点別目標

- ・国語への関心・意欲・態度 …… 初めての戦争文学に興味を持ち、平和について考えようとしている。
- ・読む能力 …… 場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むことができる。(ウ)
読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いがあることに気づくことができる。(エ)
- ・言語についての知識・理解・技能 …… 修飾と被修飾との関係など、叙述にかかわることばに気をつけることができる。(オ(ア))

(3) 単元の評価規準

| 国語への 関心意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|---|---|--|
| ・ 友達との読みの交流を通し、感じ方や考えの違いに気づいて自分の読みを見つめ直そうとしている。 | ・ 場面の様子を表す語句や文に注意しながら人物の行動や会話を手がかりに気持ちを想像して読んでいる。 ・ 感想の交流を通して、一人一人の感じ方の違いがあることに気づいている。 | ・ 助詞の働きについて理解する。 ・ 修飾と被修飾との関係などを理解する。 |

4 指導計画(12時間)及び観点別評価規準

| 次 | 時 | 目標 | 学習活動 | 身に付けさせたい力 | 読みのスキル | 評価規準 (評価方法) |
|-----------------------|-----------------|---|--|----------------------|------------------------|---|
| 一 と ら え る | 1 | 範読を聞き、心に残ったこと等感想をもつことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元と出会う。 ・教材文を読む。 ・初発の感想を書く。 | 感想をもつ力 | 感想 | 関心に残ったこと等を感想に書き表そうとしている。(ノート・発言) |
| | 2 | 学習計画を立て、学習の見通しをもつことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画を立てる。 ・場面分けをする。 ・音読練習をする。 | 学習の見通しをもつ力 | 音読 ・追い読み ・一斉読み | 関学習課題・学習のめあてをもとうとしている。(ノート・発言) |
| | 3 | 新出漢字を読むことができる。 音読練習をすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を読む。 ・筆順を知る。 ・音読練習をする。 | 正しくすらすら読む力 | 音読 ・一人読み ・一文読み | 言新出漢字を読める。(音読) 関音読練習に励んでいる。(音読態度) |
| 二 ふ か め る | 4 | 場面ごとに設定をとらえ、あらすじをつかむことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物、主役・対役をとらえる。 ・時、場所、人物、できごとを設定表にまとめる。 | 内容の大体をとらえる力 | 設定 主役 対役 あらすじ | 読文章の中心語句を見つけ、内容をまとめている。(学習シート・発言) |
| | 5 | 家族四人・兄妹二人でしたかげおくりの様子や心情を読み取ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・四人でかげおくりする様子や心情を読み取る。 ・二人でかげおくりをする様子や心情を読み取りを対比する。 | 叙述を基に想像する力 | 行動 様子 対比 | 読家族四人・兄妹二人でかげおくりをする様子や心情を読み取っている。(学習シート・発言) |
| | 6 | 空襲で一人はぐれ、お母さん・お兄ちゃんのお帰りを待つちいちゃんの様子や心情を読み取ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・空襲警報で逃げる時の様子を読み取る。 ・防空壕で待っているちいちゃんの様子や心情を気持ちを読み取る。 | 叙述を基に想像する力 | 行動 様子 色 | 読母・兄とはぐれたちいちゃんの様子と心情を読み取っている。(学習シート・発言) |
| | 7 本時 (1組) | 一人でかげおくりをするちいちゃんの様子や心情を読み取ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人でかげおくりをするちいちゃんの様子や心情を読み取る。 ・四人でかげおくりをする様子と対比する。 | 叙述を基に想像する力 | 行動 様子 対比 | 読一人でかげおくりをするちいちゃんの様子や心情を読み取っている。(学習シート・発言) |
| | 8 本時 (2組) | 平和な今の暮らしと戦争中の暮らしの違いを考えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ちいちゃんの周りから失われていったものを考える。 ・今の暮らしと対比する。 | 場面の情景をとらえ、叙述を基に想像する力 | 対比 主題 | 読平和な今の暮らしと戦争中の暮らしの違いを叙述を基に想像し考えている。(学習シート・発言) |

| | | | | | | |
|-------------------|----|---|--|-----------------------|--------|---|
| | 9 | 副教材「ひろしまのエノキ」を読み、場面の様子を読み取ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・原爆前のエノキや周りの様子を読み取る。 ・原爆後のエノキや周りの様子を読み取り対比する。 | 場面の情景をとらえ、叙述を基に想像する力 | 行動様子対比 | 読 戦争とともに変わるエノキの変化を読み取っている。 (学習シート・発言) |
| 三 ひろ め る | 10 | 戦争文学の中から紹介したいものを選び、登場人物の紹介やあらすじを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の紹介を書く。 ・分かりやすくあらすじを書く。 | 読み取ったことを表現する力 | | 書 分かりやすく登場人物の紹介やあらすじを書いている。(作品) |
| | 11 | 心に残った場面やその理由を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・強く心に残ったことを書く。 ・なぜ心に残ったのか理由を書く。 | 読み取ったことを表現する力 | 感想 | 関 何が強く心に残ったのか伝わるように書いている。 (作品) |
| | 12 | 年長者に本の紹介をすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本を紹介する。 ・友達の作品のいいところを発表する。 | 他の作品に興味を持ち、読み進めようとする力 | 感想 | 関 友達の本紹介のよいところを見つけ、いろいろな本に興味をもっている。 (発言・態度) |

5 本時の指導（3年1組 7/12時間 授業者 松本 紀子）

（1）目標

たった一人でかげおくりをするちいちゃんの様子を読み取ることを通して、家族に対する強い気持ちを考えることができる。

（2）具体の評価規準と手立て

| A：十分満足 | B：おおむね満足 | 努力を要する児童への支援 |
|--|-------------------------------|---|
| 家族と会えた喜びとともに天国でしか家族と会えなかった悲しさを読み取っている。 | 家族に会いたいと強く願うちいちゃんの様子を読み取っている。 | 家族の声が聞こえたり、四つのかげが空に浮かんだりしたわけを板書をもとに想起させ、家族と再会したちいちゃんに伝えたいことを書けるように支援する。 |

具体例 A： 家族と会えてよかったね。でも、本当は生きているうちに会えればよかったね。

（3）指導にあたって

児童は、前時までに空襲で母親や兄とはぐれ、心細く思いながらも一人家族の帰りを待つちいちゃんの様子を読み取っている。本時は、一人ぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子を押さえることで家族に会いたいと強く願うちいちゃんの様子を読み取らせる。

次の点に留意し指導にあたりたい。

- ①家族四人で行なったかげおくりと対比することで、家族に会いたいと強く願うちいちゃんの様子を読み取る。
- ②家族と会える幸せが天国でしか実現できなかった悲しさを押さえる。
- ③場面で強く心に残った感想を書く活動を入れ、感想の交流する場を設ける。

（4）展開

| 段階 | 学習内容・学習活動（○主発問） | 教師の支援（●支援を要する児童への手立て） | 備考（◎評価規準・準備等） |
|-------------|---|---|---------------|
| とらえる 5分 | 1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を確認する。 一人がかげおくりをしたちいちゃんに伝えたいことをまとめよう。 | ・空襲で母親・兄からはぐれ、一人帰りを待っていたことを想起し、本時の課題へとつなげる。 | ・前時の掲示物 |
| ふかめる 35分 | 3 学習の見通しをもつ。 ・場面を確認する（四の場面）。 ・学習の流れを知る。（対比） 4 学習課題の解決を図る。 （1）家族四人のかげおくりと比べながら一人ぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子を読み取る。 | ・家族四人のかげおくりと一人ぼっちのかげおくりの様子を比べながら読み取っていくことを確認する。 ・違いが分かるところを穴埋め式にして、ことばの違いに気づかせる。 | ・学習シート |

| | | | |
|-------------------|--|---|--|
| | <p>○家族四人でやったかげおくりとの違いに気をつけながら、一人ぼっちでやったかげおくりの様子をまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 28～32 段落の音読 ・ シートに記入 <p>○ たった一つのかげを見つめていたのになぜ四つのかげがくっきりと空にうかんだのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お父さん、お母さん、お兄ちゃんにすぐ会いたいと思っているから <p>(2) 家族と再会できたちいちゃんの気持ちを読み取る。</p> <p>○「きらきらわらいだしました」からちいちゃんのどんな気持ちが分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すごく嬉しい ・ やっと会えた <p>○「こんな所」とはどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空色の花畑の中 ・ 空の上 ・ 天国 <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>○ちいちゃんに伝えたいことをまとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家族と会えて よかったね。でも、 本当は生きているうちに会いたか ったよね。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ この場面の感想を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ おさえたい語句 ふってきました。 重なって聞こえだしました。 ・ ペア発表のあと全体発表の形にし、発表への抵抗感をなくす。 ・ 一の場面と比較しながら、家族に会いたいという強いちいちゃんの思いを読み取らせる。 ・ 視写させた後に書き込ませる。 ・ 「きらきら」「わらいだす」から待ち焦がれていた家族と再会した喜びを読み取らせる。 ・ 家族と会える幸せが天国でしか実現できなかった悲しさに気づかせる。 ・ 板書をもとに学習を振り返る。 ・ 大事な部分に触れるような書き方で簡潔にまとめさせる。 ● 家族の声が聞こえたり、四つのかげが空に浮かんだりしたわけを板書をもとに想起させ、家族と再会したちいちゃんの気持ちを考えさせる。 ・ 家族と会えた喜びを全員に押さえさせる。 ・ 学習した場面で心に強く残ったことが伝わるように感想を書かせる。 | <p>◎四人でやったかげおくりと一人ぼっちでやったかげおくりを対比しながら違いを読み取ることができる。</p> <p>(学習シート・発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習シート <p>◎家族と再会できたちいちゃんの喜びを読み取ることができる。</p> <p>(学習シート・発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習シート <p>◎家族と再会したちいちゃんの気持ちを考えている。</p> <p>(学習シート・発表)</p> |
| <p>まとめ 5分</p> | <p>6 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ音読をする。(33～35 段落) ・ 自己評価をする。 <p>7 次時の学習内容を確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 読みのスキルを使って内容が分かったか。 ・ 進んで発言できたか。 ・ なるほどと思った友達の発表。 ・ 次時は、戦争中と今の違いを考えることを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習シート |

(5) 板書計画

ちいちゃんのかげおくり

一人でかげおくりをしたちいちゃんに、つたえたいことをまとめよう。

読みのスキル 対比

げんじつ

四人のかげおくりの挿絵

まぼろし
家ぞくにすぐ会いたい

一人のかげおくりの挿絵

「なあんだ。みんな、天国でしか会えない
ちいちゃんは、こんな所にいたから、
来なかったのね。」
「...会えてすごくうれしい
まとめ」

ちいちゃんへ

家ぞくと会えて、よかったね。でも本当は生きているうちに会いたかったよね。
感想：天国でしか家ぞくと会えないちいちゃんがかわいそうでした。戦争がなければ幸せにくらせたのね。

6 本時の指導 (3年2組 8/12時間 授業者 小野寺 亜貴代・菊池 若子)

(1) 目標

| A：十分満足 | B：おおむね満足 | 努力を要する児童への支援 |
|---|---|---|
| 今と戦争中のくらしの違いから、平和に対する考え方をもつことができる。戦争でちいちゃんが失ったものをふり返ることを通して、戦争の時代と今を比較し、平和に対する考えを自分の言葉で書いている。 | 戦争でちいちゃんが失ったものをふり返ることを通して、戦争と今を比較し、平和について考えている。 | ちいちゃんが失ったものを場面の順を追って探し、戦争の悲惨さを知ること、戦争と平和の違いを考えられるように支援する。 |

具体例 A： 戦争は、大切なものをたくさんうばってしまう。
 今は、楽しく安心してくらすことができる。
 この二つを比べてみて、平和を守っていかなければならないと思った。

(3) 指導にあたって

児童は、前時までには戦争によって町の様子が変わったことや、ちいちゃんの死について読み取っている。本時では、前時までの場面ごとの読みをふり返りながら、ちいちゃんの失っていったものを確認していき、一～四の場面と五の場面との比較により、戦争の悲惨さと平和の大切さについて考えさせていく。

次の点に留意し指導にあたりたい。

- ①戦争でちいちゃんの周りから失われていったものを場面の順にふり返ることで、戦争の悲惨さを考える。
- ②戦争の様子と、五の場面の何十年後の様子を対比することで、平和な様子をおさえる。
- ③対比でおさえたことと五の場面がある意味を考え、主題をとらえる。

(4) 展開

| 段階 | 学習内容・学習活動 (○主発問) | 教師の支援 (●支援を要する児童への手立て) | 備考 (◎評価規準・準備等) |
|---------|---|--|--|
| とらえる3分 | 1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">戦争と今の時代を比べよう。</div> | ・前時を想起し、本時では全体をふり返ることと五の場面を学習することを確認して、本時の課題へとつなげる。 | ・前時までの掲示物 ・学習シート |
| ふかめる35分 | 3 学習の見通しをもつ。 学習の流れを知る。 ① 学習範囲 一～四の場面：戦争 五の場面：今 ② 読みのスキル 対比 4 学習課題の解決を図る。 (1) 戦争の様子を読み取る。 ○ 戦争でちいちゃんの周りから失われていったものは何でしょう。 ・家族 ・命 ・かげおくり ○ 戦争について、どう思いますか。 ・こわい ・悲しい ○ ちいちゃんはどんな気持ちを持ち続けたと思いますか。 ・家族への思い (2) 五の場面から今の様子を読み取る。 ・五の場面の音読 ○ 戦争の場面と、今の場面を対比しましょう。 ・たくさんの家が建っている。 ・遊んでいる。 | ・戦争と今の様子を比べながら読み取っていくことを確認する。 ・前時までを振り返り、場面ごとに確認していく。 ・ちいちゃんにとって大切なものだったことをおさえる。 ・戦争の悲惨さについて、考えを深められるようにする。 ・戦争でもちいちゃんの家族への思いは奪えないことに気づかせる。 ・いくつかの対比を挙げ、その後は自分で探して書くようにする。 ●なかなか書けない子には、これまでの授業をふり返り、戦争の様子を提示し、今のくらしとの変化をとらえさせる。 | ・学習シート ◎ちいちゃんの周りから失われていったものから、戦争について読み取ることができる。 (学習シート・発言) ・学習シート |

| | | | |
|--|--|---|--|
| | <p>○今の時代について、どう思いますか。 ・楽しい ・明るい</p> <p>○ なぜ五の場面があるのでしょうか。 ・平和の大切さを伝えたかったから。</p> <p>5 学習課題についてまとめる。 (1) 書きまとめる。 (2) 発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>戦争は、大切なものをたくさんうばってしまう。今は、楽しく安心してくらすことができる。この二つを比べてみて、平和を守っていかなければならないと思った。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・今の時代の平和な様子を捉え、考えを深められるようにする。 ・題名と内容に触れ、五の場面の意味を考える。 ・板書をもとに学習を振り返る。 ・大事な部分に触れるような書き方で簡潔にまとめさせる。 ●書き出せない子には「戦争は～、今は～、この二つを比べてみて～。」に続けて書くように支援する。 ・平和についての考えは全員にもたせる。 | <p>◎一～四の場面と、五の場面を対比し、違いを捉え、平和について考えている。 (学習シート・発言)</p> |
| <p>ま と め る 7 分</p> | <p>6 本時のまとめをする。 (1) まとめの音読をする。(五の場面) (2) 本時の学習をふり返る。 (3) 自己評価、相互評価をする。</p> <p>7 次時の学習を確かめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・感想を交流する。 ・読みのスキルを使って内容が分かったか。 ・進んで発言できたか。 ・なるほどと思った友達の発表。 ・「ひろしまのエノキ」の読み取りを確認する。 | <p>・学習シート</p> |

(5) 板書計画

戦争は、大切なものをたくさんうばってしまう。今は、楽しく安心してくらすことができる。この二つを比べてみて、平和を守っていかなければならないと思った。

③まとめ 命の大切さ

②五の場面の意味 平和の大切さ

五場面 今

お兄ちゃんやちいちゃんぐらいの子どもたち前よりもたくさんの家青い空きらきら声をあげて、遊んでいる。

⇔

一～四場面 戦争

家族の命
ちいちゃんの命
家がやけ落ちている
怖い空(かげおくり)
遊べない

対比

①読みのスキル 対比 時代

ちいちゃんのかげおくり

戦争と今の時代と比べよう。

楽しい
明るい
平和
これからも続
いてほしい

大切なものをうばった。

でも 家族への思いはうばえなかった。

こわい
かなしい
暗い
もう起きてほ
しくない

| 場面 | 時 | 場所 | 登場人物 | 出来事 | 小見出し |
|-------|---------------|----------|-------------------------------------|--|----------------------------------|
| ⑦ ～ ① | ・お父さんが出征する前の日 | ・墓参りの帰り道 | ・お父さん ・ちいちゃん ・お兄ちゃん ・お母さん | <p>・「かげおくり」って遊びをちいちゃんに教えてくれたのは、お父さんだった。</p> <p>・ちいちゃんとお兄ちゃんを中にして、四人は手をつないだ。そして、みんなで、かげぼうしに目を落としたり。</p> <p>・目の動きといっしょに、白い四つのかげぼうしが、すうつと空に上がった。</p> <p>「今日の記念写真だなあ。」</p> <p>・白いたすきを肩からななめにつけ、日の丸の旗に送られて、列車に乗った。</p> <p>・かげおくりをして遊ぶようになった。</p> <p>・戦が激しくなって、かげおくりなどできなくなった。</p> <p>・広い空は、楽しい所ではなく、とてもこわい所が変わった。</p> | 家族とかげおくりをしたちいちゃん |
| ② | ・夏のはじめのある夜 | ・家・外 | ・ちいちゃん ・お母さん ・お兄ちゃん | <p>・空襲警報のサイレンで目が覚めた。</p> <p>・お母さんは、ちいちゃんとお兄ちゃんを両手につないで走った。炎の渦が追いかけてくる。</p> <p>・ちいちゃんは、お母さんとはぐれた。</p> | ひとりぼっちになったちいちゃん |
| ③ | 朝 ・(次の日の) | ・町 | ・ちいちゃん ・おばさん | <p>・ちいちゃんは、ひとりぼっちになった。ちいちゃんは、たくさんの人たちの中で眠った。</p> | 防空壕の中で眠ったちいちゃん |
| ④ | 夜 | ・防空壕 | ・ちいちゃん | <p>・ざつの中に入れてある干飯を、少し食べた。そして、壊れかかった防空壕の中で眠った。</p> | |
| ⑤ | 曇った朝 昼↓暗い夜 | ・防空壕 | ・ちいちゃん | <p>・ざつの中の干飯を、また少しかじった。そして、壊れかかった防空壕の中で眠った。</p> | |
| ⑥ | ・夏のはじめのある朝 | ・防空壕 | ・ちいちゃん | <p>・ちいちゃんは、暑いような寒いような気がした。ひどくのがかかっている。</p> <p>・ちいちゃんは、ふらふらする足を踏みしめて立ち上がると、たった一つのかげぼうしを見つめながら、数えだした。</p> <p>・ちいちゃんが空を見上げると、青い空に、くつきりと白い影が四つ。</p> <p>・そのとき、体がすうつと透きとおって、空に吸い込まれていくのが分かった。</p> <p>・ちいちゃんは、空色の花畑の中に立っていた。</p> <p>・そのとき、向こうから、お父さんとお母さんとお兄ちゃんが、笑いながら歩いてくるのが見えた。</p> <p>・こうして、小さな女の子の命が、空に消えた。</p> | 一人でかげおくりをしたちいちゃん |
| ⑦ | ・それから何十年 | ・公園 | ・お兄ちゃん ・やちいちゃん ・ぐんぐんぐらいの子どもたち | <p>・青い空の下、今日も、お兄ちゃんやちいちゃんぐらいの子どもたちが、きらきら笑い声を上げて、遊んでいる。</p> | きらきら笑い声を上げて遊んでいるちいちゃんぐんぐらいの子どもたち |

学習課題

一人でかげおくりをしたちいちゃんに、つたえたいことをまとめよう。

①一の場面とくらべよう。

| | |
|--|--|
| <p>一の場面・・・家族四人のかげおくり</p> <p>青い空を見上げたお父さんが、つぶやきました。 「かげおくりのよくできそうな空だなあ。」 「ね。今、みんなやってみましょうよ。」 と、お母さんが横から言いました。 ちいちゃんとお兄ちゃんを中にして、四人は手をつなぎました。そして、かげぼうしに目を落としました。 「ひとつつ、ふたあつ、みいつつ。」 とお父さんが数えだしました。</p> | <p>四の場面・・・一人だけのかげおくり</p> <p>「かげおくりのよくできそうな空だなあ。」 というお父さんの声が、青い空から 「ね。今、みんなやってみましょうよ。」 というお母さんの声も、青い空から ちいちゃんは、ふらふらする足をふみしめて立ち上がると、たった一つのかげぼうしを見つめながら数えだしました。 「ひとつつ、ふたあつ、みいつつ。」 いつの間にか、お父さんのひくい声が、 「ようつつ、いつうつ、むうつつ。」 とお母さんの高い声も、それに 「ななあつ、やあつつ、こここのうつ。」 お兄ちゃんのわらいそうな声も、 「とお。」 ちいちゃんが空を見上げると、青い空に、くつきりと白いかげが四つ。 体がすうとすきとおって、空にすいこまれていくのが分かりました。</p> |
|--|--|

②ちいちゃんの気持ちを考えよう。

ちいちゃんは、

③まとめ

ちいちゃんへ

家でくと会えて

④感想（この場面で心に強くなったことを書きましよう）

⑤ ぶりかえり

| | | |
|---|--|--------------------------------------|
| <p>① 読みのスキルをつかって、内容が分かったか。(○ △) まとめが書けた。()</p> | <p>② 進んで手をあげたか。 五回以上 () 三〜四回 () 0〜二回 ()</p> | <p>③ なるほどと思った友だちの発表 わけは、 ()</p> |
|---|--|--------------------------------------|